

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第34週（令和7年8月18日～令和7年8月24日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

麻しんの報告が7件ありました。麻しんは、麻しんウイルスによる感染症で、空気感染、飛まつ感染、接触感染により感染拡大します。感染してから、約10日後に発熱や咳等の症状で発症し、2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発しんが出現します。麻しんを疑う症状（発熱、発しん、咳、鼻水、目の充血等）が現れた場合は、必ず事前に医療機関へ連絡しましょう。受診の際は、周囲への感染拡大を防ぐために必ずマスクを着用し、公共交通機関の利用を避けてください。麻しんの感染力は極めて強いため、手洗い、マスクのみでは予防できず、ワクチン接種が最も有効な予防法です。対象年齢の方は定期予防接種を受けましょう。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	19	489	179	8,735
腸管出血性大腸菌感染症	11	156	133	2,064
腸チフス	1	4	1	18
レジオネラ症	2	43	50	1,412
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	56	16	820
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	50	14	948
後天性免疫不全症候群	1	32	6	526
侵襲性肺炎球菌感染症	1	101	19	2,521
梅毒	6	481	118	8,734
百日咳	93	2,581	1,506	66,655
麻しん	7	15	5	209

■ 定点把握疾患報告数

警報レベル（※）

注意報レベル（※）

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	1,112	9.11	1.30	22,288	6.30
インフルエンザ	50	0.41	2.50	980	0.28
急性呼吸器感染症	5,247	43.01	1.43	120,683	34.14
RSウイルス感染症	110	1.57	1.57	1,358	0.63
咽頭結膜熱	41	0.59	1.78	534	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	150	2.14	1.50	2,093	0.97
感染性胃腸炎	376	5.37	2.08	5,296	2.46
水痘	21	0.30	1.31	430	0.20
手足口病	20	0.29	0.56	752	0.35
伝染性紅斑（警報レベル）	265	3.79	2.01	2,495	1.16
突発性発しん	38	0.54	1.65	496	0.23
ヘルパンギーナ	18	0.26	1.20	1,645	0.77
流行性耳下腺炎	6	0.09	1.50	83	0.04
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	11	0.02
流行性角結膜炎	23	0.88	5.75	420	0.67
細菌性髄膜炎	1	0.07	1.00	5	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	30	0.06
マイコプラズマ肺炎	13	0.87	1.08	558	1.16
クラミジア肺炎	0	0.00	－	－	－
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	－	2	0.00

（※）令和7年第15週からの定点医療機関の減少等に伴い、従前の警報及び注意報の基準値を直ちに当てはめることはできません。そのため、国が警報及び注意報の取扱いを検討することとしています。取扱いが示されるまでの間、本県では従前の基準値で運用することとします。